

みどり～む

STOP 温暖化

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会

グリーン北杜だより

グリーン北杜ホームページ <http://www.greenhokuto.jp/>

ご挨拶

会 長 篠 原 充



この度の「みどり～む」第4号の発刊に伴いご挨拶申し上げます。

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会（グリーン北杜）も今年で7年目を迎え、事業活動も年を重ねるごとに活発化しており、これも一重に会員各位のご協力と市民の皆様のご理解によるものであり、心より感謝申し上げる次第でございます。

さて、このところの異常気象によって発生する自然災害の損害規模は、年々大きくなっているようであります。局地的な暴風や土石流によって、またたく間に生命や財産を奪ってしまう竜巻やゲリラ豪雨などが多発したり、一方では少雨による大規模な山火事の発生や飲料水・農作物に深刻な影響をもたらす長期の干ばつが大きな問題となっています。さらには、今年は世界各地で大寒波が襲い、国内では特に県内において未曾有の豪雪となり、大自然の脅威と人間の非力さを身を以て知ることとなりました。このような異常気象には、地球温暖化による気候の変動や海流の変化が大きく関わっていて、その原因には温室効果ガスの異常な増加があり、その傾向は今尚さらなる拍車をかけて進行しているとされています。この温室効果ガスの増加は産業革命以降の経済発展の代償であり、やがて訪れる子供たちの未来に重たい負担がのしかかってしまうとされています。

この脅威を完全に排除することは不可能かもしれませんが、そうかと言って手をこまねいては何も変わりません。今できること・・・それは、そう難しいことではありません！

日常生活における消費の見直しや、省エネなどに根気よく取り組むこと、そしてクリーンエネルギー利用の理解を深め地域社会の取り組みに積極的に関わっていくことであります。

私たちグリーン北杜は、今後とも CO₂ 削減に向けた取り組みはもとより、北杜市次世代エネルギーパーク構想の推進に協力し、北杜市の豊かな自然環境の保全と地域の活性化に貢献していきたいと考えております。どうか、この「みどり～む」をご一読いただき、大勢の皆様に環境保全に関する活動や日常生活の取り組みの輪を広げていただけますようお願い申し上げます。

主 な 活 動 事 例

平成 25 年度

環境学習会

【温暖化対策部会】

市内において、学校や団体からの要望により北杜市環境学習プログラムによる環境学習会を行っています。様々な方々に温暖化問題や環境保全に興味を抱いていただくため、今後も精力的に取り組んでまいります。



実施日

平成 25 年 11 月 19 日

「太陽エネルギーの秘密？～ソーラークッカーで料理～」

参加者 明野小学校 4 年生 46 名

実施日

平成 25 年 11 月 1 日

「作って学ぶ！廃物利用とレジ袋抑制～古布でマイバッグ～」

参加者 須玉小学校 5 年生とその保護者 94 名



実施日

平成 25 年 7 月 16 日

「田んぼの生き物調べ」

参加者 白州小学校 5 年生 23 名

実施日

平成 25 年 6 月 28 日

「太陽パネルを使ってみよう！
～身近にある太陽光利用のしくみ～」

参加者 高根清里小学校 3,4 年生 25 名



実施日

平成 25 年 6 月 6 日

「川の生き物を調べよう！」

平成 25 年 8 月 26 日

「パックテストで身近な水の環境調べ～水保全の方法とは～」

平成 25 年 11 月 28 日

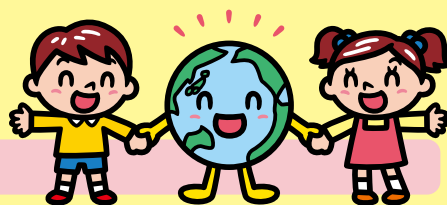
「水はどこから来て、どこへ行く！（室内版）～大切な水のこともっと知ろう～」

平成 26 年 1 月 29 日

「てんぷら油で石けん作り！～実際に作ってみよう～」

参加者 高根東小学校 4 年生 26 名

第4回子ども環境フェスタ in 北杜



次世代を担う子どもたちが、参加・体験型イベントを通じて地球温暖化問題や環境保全について楽しく学び、考える力を養い、地元への愛着心を育むことを目的とした「第4回子ども環境フェスタ in 北杜」を11月30日に、北杜市高根町農村環境改善センターにて行いました。今年で第4回目となり、例年に引き続き数多くのワークショップや様々なステージ公演、すてきな賞品がもらえるスタンプラリーなど内容も充実し、会場では子ども達が様々な体験を真剣に取り組む姿が見受けられました。

また、子ども達が環境保全や地球温暖化問題について自ら考える機会の場として市内小学生を対象に子ども環境標語を募集しました。1,747点もの応募をいただき、子ども環境フェスタ内において入賞者を表彰しました。

実施日 平成25年11月30日 参加者 1,000名



環境家計簿(エコチャレンジ)事業

以前本協議会活動の一環にて、環境家計簿調査を実施しましたが、東日本大震災の影響により全国的にエネルギーの見直しが図られました。ついては、震災後の環境家計簿調査を行い、冬季の各家庭でのエネルギー消費の変化を調査しました。今後はその結果を取りまとめ、来年度事業へと活用していきます。

PR用クリアファイル作成事業

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会(グリーン北杜)PR活動のため、これまでの環境標語を印刷し市内小学校に配布いたします。



エコプロダクツ2013 見学バスツアー

【クリーンエネルギー推進部会】

やまなし環境財団環境保全活動支援助成金活用事業

例年グリーン北杜で行っている北杜市民向けの体験環境ツアーです。東京ビックサイトにて国内最大級の環境イベントの見学を行います。様々な企業の出展ブースに立ち寄り最新環境グッズや取り組みを目にし、参加者は思い思いに各ブースを巡り、楽しく環境を学ぶツアーとなりました。

実施日 平成25年12月15日 参加者 70名



北杜サイト太陽光発電所ガイド事業

市からの委託により、北杜サイト太陽光発電所の定期見学会視察ガイドを行いました。クリーンエネルギーに対し、参加者の意識の高まりをガイドをする中で実感しています。



太陽光発電設備設置状況調査業務委託事業

市の委託事業として、市内の住宅用太陽光発電設備以外の太陽光発電設備の導入状況調査を行いました。

北杜グリーンツーリズム “～繋～ 次世代エネルギーパーク” 【北杜グリーンツーリズム推進部会】

北杜市環境保全基金活動事業

北杜市次世代エネルギーパークのエコツーリズムに連動した事業として、季節別のツアーを企画しました。第1弾は明野のひまわり畑を使ってナイトハイクを行い、第2弾は地元の「猟師」の方のお話をたきびにあたり、ワインを飲みながら聞く大人のたき火時間を体感するツアーを企画しました。第3弾は清里の雪の中での親子たきび体験といった北杜市ならではの環境を活かしたツアーを実施し、県内外の多くの親子にご参加いただきました。



第1弾 “ひまわりナイトハイク”
実施日 平成25年8月17日



第3弾 親子でたきびツアー
3'rd in清里
実施日 平成26年2月8-9日



第2弾 おとなの“たきび時間”
～標高600mの森で過ごす週末～
実施日 平成26年1月25-26日

参加者合計 80名

平成25年度子ども環境標語コンテスト入賞作品 総応募数 1,747点

今年もたくさんの応募ありがとうございました。

自然環境部門（低学年）

★市長賞 長坂小学校3年 堀内 大智

ぼくたちは きれいな地球の サポーター

★教育長賞 高根北小学校3年 秋山 凌大

夕ごはん 家ぞくで話す おんだんか

★G 北社会長賞 長坂小学校3年 小林 美優奈

ふった雨 よごさず海に かえそうよ

自然環境部門（高学年）

★市長賞 高根東小学校4年 下條 楠々帆

山や川 自然を未来に つなげよう

★教育長賞 長坂小学校6年 辻 良輝

守ろうよ 自然の命は ぼくらの命

★G 北社会長賞 白州小学校5年 稲毛 美羽

今の地球 未来にわたす エコのバトン

暮らし部門（低学年）

★市長賞 長坂小学校3年 手塚 壘輝

はやくねる ぼくにもできる エコかつ動

★教育長賞 高根北小学校3年 白倉 大樹

もったいない それがわが家の あいことば

★G 北社会長賞 長坂小学校3年 平島 明和

うちのまど ゴーヤカーテン すずしいな

暮らし部門（高学年）

★市長賞 長坂小学校5年 小尾 佳乃恵

やってるけ？ 節水・節電・リサイクル

★教育長賞 須玉小学校5年 津金 早苗

早寝早起き節電で 地球も体も 健康に

★G 北社会長賞 高根東小学校4年 植松 真唯

そのごみを 知恵と工夫で 再利用

「NPO 法人ハイドロクリーン21」

「ハイドロクリーン21」の名前の由来は、水力発電の英語「Hydro(ハイドロ)」と、再生可能エネルギーから生み出される「クリーン」な電力を組み合わせた言葉です。水力発電を中心とした再生可能エネルギーの普及活動を行う団体であることを表しています。そして、21世紀に生きる私たちが未来の子どもたちに、エネルギー不足のない安全な暮らしを残していきたいという願いが込められています。

3.11原発事故をきっかけに、再生可能エネルギーが着目される中、水力発電は貴重な国産エネルギーであり、安定した供給源として注目されています。特に、1万kW以下の「小水力発電」は、中小河川や農業水路などを流れる身近な水を有効活用することから、可能性のある地点が数多くあります。名水の里「北杜市」にも、豊かな水資源を活用した小水力発電所が動いています。

主な活動は、小水力発電を中心に再生可能エネルギー全般に関わる開発可能性の調査・提案、技術条件・社会的制約の調査、海外との情報交換などを行っています。また、各諸団体との意見交換や、発電所の見学会、北杜市子ども環境フェスタへの展示なども行なっています。地域の方々との交流を深めながら、持続可能な社会の実現を共に目指していきたいと考えています。



北杜市子ども環境フェスタ 2013
水力発電の仕組みを子ども達に教えている様子

〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸3905

ホームページ <http://www.npohc21.ecnet.jp/>

(株)茅ヶ岳観光バス

(株)茅ヶ岳観光バスは、地球環境にやさしい乗り物として、バスの魅力向上に努めます。

当社は平成9年4月より貸切旅客自動車運送事業の免許を取得し、安心・安全・快適なバスを経営理念にし、地元小中学校をはじめ、地元企業や自治会等、地域の皆様に信頼をいただき、おかげさまで今年17年目を迎えることができました。

当社は、地域の一員として信頼される事業活動を行ううえで、環境保護活動に取り組むことが企業の社会的義務であると考えます。環境保護活動を推進するため、社員の参加意識を高め、企業理念や環境関連法令を踏まえ、積極的に取り組みを行い、地球環境にやさしい乗り物として、バスの魅力向上に努めます。

自動車(バス)から排出されるCO₂やNO_x(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)が大気汚染の原因となり排出ガスをできるだけクリーンにするため、エコドライブの推進及びバスの点検整備の強化を行っています。

「エコドライブ」

エンジン始動時にアクセルを踏み込まない。不要なアイドリング、急発進、急加速の防止等、交通状況に応じたエコドライブに努めています。

「点検整備」

黒い排気ガスを出さないように特殊なフィルタ(NO_x・PM低減装置)又は、酸化触媒等を車両に取付け、エアクリーナーエレメント、燃料フィルタ、燃料噴射ポンプの点検整備を重点に実施しています。



会員インタビュー

高根町 八巻 美弥子 様

●山梨県温暖化防止推進員

普段は甲陵高校講師として英語を教えています。

●入会のきっかけ

8 町の推進員を中心とした協議会発足に伴い入会。

●感想

私たち一般人にとって、温暖化防止活動というのは余りにも壮大で漠とした活動の様に思われました。推進員になる前は、エコ意識などかなり足りない方の人間でしたし、今でも満足とはいきません。ただ両親の教えに従い子どもの頃から物をムダにするは好きではありません。直せる物は直して使う。食べ物は米一粒粗末にしない。例えばきれいなリボンや箱は捨てられないし、着るものは繕って着たり、ちょっと前まで、きれいなボタンなどとおいたりしていました。もちろん、綿類は手頃に切って雑巾にしたり、直して使います。物は、金の多寡ではなく、物には全うすべきいのちがあると思っているからです。性格のせいか使い方は荒いかもしれませんが。

これから仕事をもっているのではなかなか活動も思うようにゆきませんが、何でも楽しくなければ続かないので、できることを楽しくさせてもらいたいと思います。

北地区林業研究会 どんぐりバンク事務局 山梨・里山の学校

代表 明石 益夫

里山の再生を目指して

里山は人々の生活空間のどこにも存在します。そして里山はその生活空間に様々な影響を及ぼしています。経済的な恩恵のみならず精神的な心の故郷としても、大切な自然空間です。

その里山が今、壊死しつつあります。私はこれまで、地域づくりコンサルタントとして様々な地域づくりにかかわってきましたが、里山の荒廃は全国津々浦々どこでも、共通の現象です。地域の過疎・高齢化の現象と裏腹で、樹木は高樹齢化し、林は人々のアクセスを拒絶する藪と化しています。

現代の経済社会がこれらをないがしろにしてきたからと考えられます。

北杜市の美しく豊かな自然に魅せられてこの地に移住して 9 年、さまざまな森づくりにかかわり、その過程で 3 年前に出会った地元の里山再生にこだわる林業家と問題意識を共有し、里山の荒廃・藪化に対する取り組みを始めました、具体的には、高樹齢化している雑木林の伐採を進め、茅芽更新により森の若返りを図るとともに、伐採木は薪・ホダ木・木工材等として活用し、販売木として伐採の経費に充当します。

また一昨年から「どんぐりバンク」を立ち上げました。

これは伐採跡地に広葉樹を中心とした混交林を育成することにより若く元気な里山の雑木林づくりを進めるとともに、多くの地域からどんぐりを預託してもらい、遊休農地を活用してどんぐりの苗を育て、育った苗の一部を預託者に送り返し、残りの苗は植林に活用または販売して経費に当てるといった試みです。今年の 4 月、最初に蒔いたどんぐりから育った苗が植林の時期を迎え、約 800 本の苗を公募によって参加した皆様とともに植林しました。参加者はどんぐり拾いイベントに参加したファミリー、どんぐりを送ってくれた皆様、東京で里山再生活動をしている方、県内の方々、市内の別荘にお住まいの方、森のようちんの園児と親たち、地元の方々等、実に多彩な方々が新緑の山に入り植林を楽しむとともに、交流会で森の再生を熱く語っていただきました。今後ともこのような活動を継続してゆきたいと考えています。

かつて里山は、住民の生活・生業を支え、住民と共生して成り立っていました。今後の里山は、この共生のあり方を変え、私たちの生活に対応した適切なあり方を模索する中で森のリサイクル、若い元気な森の再生、を図ることが望ましいと考えています。

環境 × ○○ = 観光

『自然環境に恵まれた北杜市を楽しみながら、地域住民、来訪者と共に、北杜の環境、大きくは地球環境について考え、行動できるように』という思いから生まれた部会です。「グリーンツーリズム」聞きなれない言葉ですが、農林水産省HPでは「農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動です。」とあります。

グリーンツーリズム推進部会の過去の活動は、

- “たきび”をきっかけに、森の役割を知り、たきびを家族ごと体験する、親子ツアー。
- 大人向けの“たきび”では、食事毎たきびを使つての料理。地元の食材、シカ肉の料理、地元のお酒を楽しみ、森林の恵みと問題をたきびを囲んで話しました。
- 明野のひまわり畑の夜を楽しむ「ナイトハイク」は、ひまわり畑に迷路を作りました。
- グリーン北杜がガイドしている、北杜サイトの見学を中心として市内のソーラーパネル見学と座学の学習旅行。2時間の座学があつという間だったと、熱心な参加者の感想をいただきました。

今後は、エネルギーパークにむけて、北杜市全体の環境活用として、より生活に即した持続可能社会を目指したいですね。それらの発表の場として「子ども環境フェスタ」、5回目では、内容をさらに充実したいです。

私たちの普段の暮らし、毎日の行動が重要であり、その結果が地球環境として現れる。即効性のないことなだけに緊張感がないが、昨年夏の最高気温。この冬の大雪。どちらも同じ山梨県で起きたこと。これを機に、気を引き締めたい！

ただいま、「リユース食器」事業準備中です。使い捨て食器等ごみ削減。小さい習慣が子供たちへの習慣となり、未来につながる。そう信じて怠らず…

北杜グリーンツーリズム推進部会 原 智子



今年は甲州弁が流行るら!?

今年は、甲州弁がちょっぴり、ブームになりそうです。NHKの朝の連続テレビ小説（花子とアン）が4月より放映され、「甲州弁」が全国放送されるからだそうで、「こびっと」などは、やはりそうですので注目です。（こびっととは、しっかりの意味です。）

それはさておいて、普段、甲州弁で…わからないことがありますか？環境問題も地域に根差した活動をするためには、しっかり甲州弁を理解できなくてはなりません。（笑）

例えば、「ぶちやる」。これは、「捨てる」の意味。「ゴミを捨てないで」を甲州弁では、「どこへでもゴミをぶちやるじゃねえ」ってなるんですね。他にも、「ずく」。これは、やる気だったり、面倒がらずにこまめに動くことなどを意味します。「資源ゴミは、ずくを出して分別しましょう」って言うと、しっかり分別される様になります。「使わない電気は、こまめに消しましょう」も「使わない電気は、ずくを出して……」って言えば、こびっとできます。

また、甲州弁の中には、反対に聞こえる言葉もあるので注意です。「環境を守らざあ」とか、「環境をまもらずう」などは、どちらも「環境を守りましょう」って言っているんですね。

「しろし」とか、「しちょし」。さらには、「しちょしねん」とか「しろしねん」。などもしかしたら、どうしたらいいのか困惑する人も多いかもしれませんが、方言は、その地域に合った言葉なんです。積極的に甲州弁を日常会話にとりいれてみませんか。

（もりんちゅ）

地域で学ぼう！！地球温暖化防止活動推進プログラム

グリーン北杜では地域の環境学習会開催に取り組んでいます。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

内容、所要時間、場所等はご希望に応じてアレンジ可能です。

- 活用方法／公民館活動、婦人部活動、育成会活動等
- 対象人数／10名程度～
- 申込み方法／グリーン北杜事務局までご連絡ください。



〈プログラムの一例〉

- ・実践！エコクッキング
- ・電気はどこから来るの？（室内版）
- ・太陽エネルギーの秘密？
～ソーラークッカーで料理！～
- ・てんぷら油でせっけん作り！
- ・川の生き物を調べよう！

など

このほかにもご希望に沿った学習プランに対応します。

グリーン北杜（北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会）

・グリーン北杜とは

グリーン北杜（北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会）は、「地球温暖化対策の推進に関する法律第26条第1項」に基づく温暖化対策・地域協議会で、平成20年3月に設立しました。北杜市内の地球温暖化防止対策とクリーンエネルギーの利活用の推進のため、市民、団体、事業者、行政等が共同し、共に考え、具体的な実践行動や普及啓発活動に自主的・自発的に取り組んでいます。

・グリーン北杜の構成

グリーン北杜は大きく3つの部会で構成されており、それぞれの専門性を活かしながら互いに連携を取り事業を進めています。

◆地球温暖化対策部会

民生部門における地球温暖化防止活動の推進および、地域における環境学習を担当

◆クリーンエネルギー推進部会

水力発電、太陽光発電、バイオマス利用など、自然資源を活かしたクリーンエネルギーの利活用の推進を担当

◆北杜グリーンツーリズム推進部会

北杜市次世代エネルギーパークの実現に向け、エコツアーの企画や運営を担当

●入会企業・団体（順不同）

北杜市環境事業協同組合、(有)クリーン・トレード、浅川太陽光発電所、山梨自然エネルギー発電(株)、(株)カナマル、須玉印刷、(有)金光商事、金精軒製菓(株)、エコサポート、(株)茅ヶ岳観光バス、富士工器(株)山梨工場、(株)塩川クリーン、(株)北衛生社(有)、(株)AOB 慧央グループ、(有)山梨電水社、(株)保坂環境、原商店、(株)西商店、国土興産(株)、(公財)キープ協会、(有)大泉タクシー、(株)スパティオ小淵沢、イワショー(株)、北杜市消費生活研究会、NPO ハイドロクリーン21、NPO えがおつなげて、NPO 森造、ハヶ岳興民館、峡北地区林業研究会

グリーン北杜
会員募集！！

あなたのアイデアを地域の環境保全に活かしてみませんか

■入会方法・お申し込みは事務局まで ■年会費 個人 1,000 円 団体 3,000 円 事業者 10,000 円

グリーン北杜に関するお問い合わせ

グリーン北杜事務局（北杜市生活環境部 環境課内）

TEL.0551-42-1341 FAX.0551-42-2235 グリーン北杜 HP <http://www.greenhokuto.jp/>